

Ⅲ 区民の皆さまのご意見・ご要望を区政に活かします

区は、区民の皆さまの意見やご要望を把握し、的確に施策へ反映することで、区民満足度の向上を図っています。

ここでは、平成 22 年度に実施した「大田区政に関する世論調査※2」の中から区民の皆さまのご要望の一部を紹介するとともに、それに関連する主な事業の 23 年度の実施状況をお知らせします。

(1) 区民の皆さまからの要望

高齢者対策

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らしていくために、特にどのような施策が必要だと思いますか（上位3つ）。

- 「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」(55.8%) が5割半ばと最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する見守りやひきこもりの防止」(38.7%)、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設の整備」(37.7%)、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅の介護保険サービス」(35.8%) の順となっています。

→関連する主な事業（P.14～16 参照）

- ・ 家族介護者への支援
- ・ 地域の見守り体制の整備
- ・ 介護保険施設等の整備支援
- ・ 高齢者の就労促進・起業支援
- ・ 介護予防の促進
- ・ さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化
- ・ 高齢者総合相談体制の構築
- ・ 高齢者緊急一時保護・支援体制の整備
- ・ 高齢者等の権利擁護の推進

【用語解説】大田区政に関する世論調査※2

調査時期：平成 23 年 1 月 17 日～2 月 4 日

調査対象：大田区内に居住する満 20 歳以上の男女個人 2,000 人（層化二段無作為抽出法）

調査方法：郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパーソナルコンピュータシステムから回答フォームをダウンロードし、メールによる回収も実施。

回収数：1,195 件（59.8%）

国際化推進

地域の外国人と理解しあい、共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進するために、区の対応としてどのような取り組みが必要だと思いますか（いくつでも）。

- 「日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」（43.6%）が最も高く、次いで「日本人と外国人の交流会やイベントを開く」（38.0%）、「外国人への偏見・差別をなくすための努力を行う」（32.9%）、「外国人が区へ意見や提案をしやすい手段・方法・システムなどを考える」（31.8%）、「日本人と外国人の意見交換会や話し合いの場を設ける」（28.6%）、「外国の文化や生活情報を紹介する」（25.8%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.17 参照）

- ・多文化共生推進センターの整備
- ・外国人のための日本語教室の充実
- ・身近な暮らし情報の発信

自治会等の地域活動について

地域活動を活発にするために、行政がどのような支援をしたらよいと思いますか（上位3つ）。

- 「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」（50.4%）が最も高く、次いで「地域のイベントの開催など住民同士の交流のきっかけづくり」（43.8%）、「活動費への助成」（35.7%）、「活動場所の提供や機材などの貸し出し」（27.6%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.18～19 参照）

- ・NPO・区民活動フォーラムの開催
- ・区民活動情報サイトの整備・活用
- ・地域活性化事業への支援
- ・区民活動・地域活動を支援する拠点の整備
- ・自治会・町会会館の整備助成

子育て関連施設の整備

今後、安心して子どもを育てるために区が優先して進めるべきだと思う施策は何ですか（上位3つ）。

- 「保育所や学童保育など子どもの預かり施設数の拡充」（70.5%）が7割を超え最も高く、次いで「子育てと就労の両立支援」（47.1%）、「保育所や学童保育など子どもの預かり施設の質の向上」（42.9%）、「医療費や手当などの経済的支援」（38.5%）などの順となっています。

→関連する主な事業（P.20 参照）

- ・家庭福祉員制度の充実
- ・認証保育所支援
- ・区立保育園の改築・改修の推進
- ・女性の就労支援（再チャレンジ等）
- ・学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実

特に力を入れてほしい施策

大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか（いくつでも）。
その中でも、最も力を入れてほしいと思う施策はなんですか（1つだけ）。

- 特に何に力を入れてほしいと思う施策で、最も高いのは「高齢者対策」（52.5%）で半数以上を占めています。次いで、「防災対策」（36.4%）、「道路の整備」（36.2%）と3割以上の項目が続きます。

- 最も力を入れてほしいと思う施策で、最も高いのは「高齢者対策」（18.4%）、次いで、「道路の整備」（7.8%）、「防災対策」（6.8%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.21～23 参照）

- ・地域防災活動の支援
- ・防災情報基盤の整備
- ・橋梁の耐震性の向上
- ・身近な地域の魅力づくり
- ・都市計画道路の整備
- ・京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備
- ・呑川緑道の整備
- ・桜のプロムナードの整備

(2) 主な事業の平成 23 年度実施状況

高齢者対策

事業名	内容	決算額(円)
家族介護者への支援	<p>平成 24 年 3 月に新設した特別養護老人ホームに、ショートステイ(8 人)を併設しました。</p> <p>家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者情報誌「ゆうゆう」を発行(4 回)しました。</p> <p>認知症予防講演会(1 回、参加者 415 人)を開催し、参加者のうち 363 人が同日に開催した認知症サポーター養成講座を受講しました。</p> <p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業について、区報で周知(3 回)し、サービスの利用実績は延べ 2,166 時間でした。</p>	13,081,805
地域の見守り体制の整備	<p>高齢者見守り・支え合いネットワーク活動事例集、高齢者見守りチェック表、高齢者見守り啓発用ポスター等を作成し、高齢者見守りの啓発を行ったほか、区報で、高齢者見守りチェック表や相談窓口を周知しました。</p> <p>地域での見守り体制づくりのための助成(18 自治会・町会)をしました。</p> <p>平成 23 年度から登録を開始した高齢者見守り推進事業者に、大田新聞販売同業組合や金融機関など 11 団体が登録し、区と連携した見守りを進めました。</p>	36,996,533
介護保険施設等の整備支援	<p>特別養護老人ホームの整備を支援し、平成 24 年 3 月に千里 64 床が開設、バタフライヒル大森南 80 床が竣工しました。</p> <p>認知症高齢者グループホームの整備支援について、2 事業者(各 3 ユニット)を運営事業者として採択し、両事業者とも着工しました。</p> <p>大田区初の都市型軽費老人ホームについては、事業者を公募し、1 施設(ケアハウス・ハート 20 床)が平成 24 年 3 月に竣工しました。</p>	602,329,051

事業名	内容	決算額(円)
高齢者の就労促進・起業支援	<p>運営主体の社会福祉協議会との調整を行い、平成 23 年 10 月に高齢者就労支援センターの準備室を開設し、オープンに向けた準備を開始しました。</p> <p>その後、国や都との調整を行い、社会福祉協議会が無料職業紹介事業の許可を得て、平成 24 年 2 月に高齢者就労支援センターを開設しました。</p> <p>開設後は、多くの方が来所し、1 か月で 521 人が利用しました。就労や社会参加に関する相談業務を行う一方、自所求人開拓にも努め、開拓求人数は 58 人となりました。</p> <p>区、高齢者就労支援センター、大田区シルバー人材センターの共催で、高齢者しごと・元気セミナー(参加者 110 人)を開催しました。</p>	16,350,790
介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査(25,757 件)を行い、結果を二次予防事業に活用しました。また、通所型介護予防教室いきいきシニア塾(6 日制、運動編、栄養編、口腔編、参加者延べ 3,127 人)や、閉じこもりやうつ、認知症等できいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型による介護予防の個別指導(延べ 135 回)を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20 か所のさわやかサポートで介護予防教室(243 回、参加者延べ 3,217 人)、本門寺公園等 3 か所の公園で公園体操講座(30 回、参加者延べ 1,130 人)を開催しました。また、認知症予防教室(2 日制 5 回、参加者延べ 224 人)、65 歳からの筋力アップ教室(11 回、参加者 249 人)、膝痛・腰痛運動教室(4 回、参加者 209 人)、認知症予防講演会(1 回、参加者 415 人)、認知症予防プログラム(7 日制、2 回、参加者延べ 212 人)を開催しました。</p> <p>公園体操地域指導員養成講座(27 回、参加者延べ 417 人)、介護予防活動リーダー養成講座(4 日制、1 回、参加者延べ 65 人)を開催しました。</p>	283,584,882
さわやかサポート(地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化	<p>さわやかサポート六郷中の、(仮称)仲六郷二丁目複合施設内への移設に向け、機械警備や電話設備等の具体的な検討を行いました。</p> <p>行政情報参照システムの開発・導入に向け、システムの詳細を検討しました。</p> <p>さわやかサポート相談担当職員を対象に、研修を開催(3 回、参加者延べ 50 人)したほか、地域力推進地区委員会への出席を促進し、地域との連携強化を図りました(20 か所出席)。</p>	482,330,070

事業名	内容	決算額(円)
高齢者総合相談体制の構築	<p>高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談(相談件数 1,409 件)に対応しました。</p> <p>高齢者総合相談体制を構築するため、外部委員を含む大田区高齢者福祉施策の再構築に係る検討会(4 回)で、高齢者総合相談体制等の方向性や基本方針について検討しました。その結果、さわやかサポートへの支援体制として、行政情報参照システムの開発・導入や、さわやかサポートに対する区のバックアップ体制の強化に取り組んでいくことを確認しました。</p>	8,720,917
高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	<p>外部委員を含む大田区高齢者福祉施策の再構築に係る検討会(4 回)において、緊急支援機能を検討テーマのひとつとして扱い、緊急時対応を迅速かつ的確に行うため、高齢者の相談窓口と関係各課・関係機関の連携強化及び緊急一時保護施設等の再整備を図ることを方向性とししました。また、区内警察署との連絡会を開催し、認知症高齢者への対応等を情報交換しました。</p> <p>緊急ショートステイについて、利用データを分析し、夏期、冬期に利用が増加することを把握しました。これを踏まえ、緊急ショートステイ床数の検討を行い、1 床増の 5 床が現状では適当であることを確認しました。</p>	10,409,000
高齢者等の権利擁護の推進	<p>成年後見制度やその相談窓口及び高齢者虐待防止に関する通報窓口について、区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。</p> <p>家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て(45 件)を行いました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターにおいて、法人後見(17 件)を受任したほか、成年後見制度の活用に向け、窓口相談(1,122 件)、専門相談(44 件)、成年後見人養成講座(7 回、参加者延べ 92 人)、窓口担当者法律セミナー(4 回、参加者延べ 70 人)を実施しました。</p> <p>また、地域福祉権利擁護事業(55 件)と同事業の対象拡大サービス(証書等預かり・支払い代行、15 件)を実施しました。</p>	26,241,033

国際化推進

事業名	内容	決算額（円）
多文化共生推進センターの整備	区内の多文化共生の拠点である多文化共生推進センターにおいて、13か国語での外国人向け多言語生活相談、行政情報の翻訳、区施設への通訳派遣、異文化交流会(2回、コリアンデイ、参加者 780人、大田区の姉妹・友好都市を知ろう、参加者 220人)等の事業を行いました。	17,688,647
外国人のための日本語教室の充実	日本語ボランティア養成講座(18回、参加者延べ 207人)等を実施し、区民ボランティアの育成を行いました。 また、外国人に対する日本語習得支援として、区内の日本語教室の連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員配置や、育児中の学習者でも気軽に参加できるように保育を付ける等、学習者のニーズに応じた日本語教室(24回、参加者延べ 315人)を実施しました。	2,200,000
身近な暮らし情報の発信	リビングガイドの改訂を行い、携行しやすいように従前の A4判から A5版に小型化するとともに、行政情報のみならず地域情報や多言語で受診できる医療機関情報等を掲載し、内容の充実を図りました。 外国人区民向け情報誌「Ota City Navigation」について、年4回の発行から、年8回の発行とし、区報に掲載している内容の要旨を翻訳して掲載する等、区報との連携及び内容の充実を図りました。	6,079,936

自治会等の地域活動について

事業名	内容	決算額（円）
NPO・区民活動フォーラムの開催	<p>区民の地域活動への参加を拡大し、区民活動団体と行政、企業間の連携を促進するため、NPO・区民活動フォーラム(1回、来場者延べ 879 人)を開催しました。</p> <p>区民活動団体の活動を紹介するパネル展示(57 団体)や、団体交流(参加者 48 人)、「昭和の蒲田ツアー」(参加者 35 人)、「大田区・東松島市つながるTシャツワークショップ」(参加者 25 人)、各種講座(3 回、参加者延べ 75 人)を実施しました。</p> <p>NPO や区民活動団体による運営に段階的に移行するため、パネル展示において、区民活動団体による実演形式の説明が実施されました。</p>	543,764
区民活動情報サイトの整備・活用	<p>地域の区民活動に関する有益な情報をインターネットで集約・発信する区民活動情報サイト(愛称 オーちゃんネット)を、区報やホームページで広報し、登録団体が 364 団体(前年度比 82 団体増)となりました。</p> <p>音声読み上げ機能等を改善し、高齢者の利用に配慮した情報提供を行ったほか、カレンダーからの検索等の改善により、サイト内検索機能の充実を図りました。</p>	1,406,571
地域活性化事業への支援	<p>自治会・町会が他の区民活動団体等と連携して実施する事業を支援する仕組みとして、地域の防災・防犯を高める事業(13 自治会・町会)、コミュニティの形成に役立つ事業(37 自治会・町会)、地域の福祉力を高める事業(2 自治会・町会)に助成しました。</p>	5,173,066

事業名	内容	決算額（円）
区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	<p>区民活動支援施設蒲田の利用状況等を検証し、平成 24 年度は、施設の活性化及び利用者拡大を図り、新たな区民活動支援施設については、引き続き検討するという結果を区民協働推進会議に報告しました。</p> <p>入門・団体育成講座（参加者 45 人）のほか、区民活動団体の紹介や、参加のコツを教える区民活動講座（参加者 20 人）、自治会・町会の地域活動について、理解を深めるおおた地域力発見倶楽部講座（参加者 17 人）、区民活動団体の発表、交流の場として、NPO 区民活動フォーラム連動講座（参加者 12 人）を開催しました。また、おおた工業フェアの会場で、企業の地域貢献活動講座（参加者 10 人）を開催しました。</p> <p>地域協働協力員（1 人）を配置し、地域課題の解決に向けた特別出張所、自治会・町会、NPO等の連携・協働を支援するため、打合せ会での助言、団体情報の提供等を行いました。</p> <p>区民活動やその連携・協働に関する基本的な知識・技能をもった人材を養成するため、区民活動コーディネーター養成講座（8 回、参加者 30 人）を開催しました。</p>	1,724,372
自治会・町会会館の整備助成	<p>自治会・町会活動の充実を図るため、自治会・町会会館の新築（1 件）、改築・解体（2 件）、修繕（5 件）に助成しました。また、平成 24 年度に助成するために、修繕（2 件）の交付決定を行いました。</p>	57,844,428

子育て関連施設の整備

事業名	内容	決算額（円）
家庭福祉員制度の充実	<p>自宅で2歳未満の乳児を対象に保育を実施する家庭福祉員（保育ママ）の新規認定や、区民住宅の空き室活用による北糺谷グループ保育室の開設で、保育定数を拡大（前年度比5人増）しました。</p> <p>家庭福祉員に、運営費等を助成しました。</p>	121,179,192
認証保育所支援	<p>低年齢児保育や長時間保育等のニーズに応えるため、2か所の認証保育所に整備助成を行いました。新規開設及び開所済み施設に定員拡大を働きかけた結果、総定員数が1,353人（前年度比91人増）となりました。</p>	1,456,168,535
区立保育園の改築・改修の推進	<p>（仮称）新鷺の木保育園については、鷺の木特別出張所と併設で新築工事を行い、竣工しました。入新井保育園については、改築工事が竣工し、定員を11人拡充して開園しました。森が崎保育園については、仮園舎へ移転し、改築工事に着工しました。</p> <p>みどり保育園の耐震補強等改修工事が竣工し、開園しました。</p>	788,710,601
女性の就労支援（再チャレンジ等）	<p>女性の働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるよう、働きたいママのための再チャレンジ応援ナビ（3回、参加者延べ77人）、お仕事復活ナビ（3回、参加者延べ83人）、ぶち起業家になるためのファーストステップセミナー（4回、参加者延べ107人）、お仕事女子の明日への原動力（3回、参加者延べ66人）を開催しました。</p> <p>また、女性のための就労応援フェア（1回、参加者33人）、パパの手でつくる赤ちゃんのハッピースマイル講座（4回、参加者延べ106人）、パパとキッズの真夏のチャレンジ大作戦（3回、参加者延べ105人）を開催したほか、パネル展を実施しました。</p> <p>働く女性のための相談を実施しました（相談件数145件）。</p>	1,153,770
学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実	<p>おおたっ子ひろば（6か所）、フレンドリーおおた（9か所）を運営しました。利用者数は、おおたっ子ひろばが登録学童数4,459人、一般利用延べ71,980人、フレンドリーおおたが登録学童数が4,298人でした。</p> <p>小学校の改築に伴い、小学校内に最大受入れ数60人規模のフレンドリーの設置を検討しました。</p>	878,206,532

防災対策

事業名	内容	決算額（円）
地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織(202 組織)や市民消火隊(142 組織)が訓練等を実施する場合等について、助成しました。</p> <p>防災市民組織、市民消火隊ともに新たに 1 組織が結成されました。</p> <p>ポンプ操法発表会(3 回、出場自治会・町会数延べ 60 団体)の開催を通じて、ポンプ隊の活動意識の向上を図ったほか、地域住民へ活動紹介を行いました。</p> <p>自助、共助による防災力の強化を図るため、防災講習会(1 回、参加者 275 人)を開催しました。</p> <p>職員が地域の防災訓練に参加し、起震車、煙体験の派遣(306 回)や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけのほか、仮設トイレ組み立て指導(30 回)等を通じた「共助」の呼びかけを行いました。</p>	66,703,933
防災情報基盤の整備	<p>区報、ホームページ等で区民安全・安心メールサービスの広報を行い、登録者数が 47,100 人(前年度比 2,070 人増)となりました。</p> <p>緊急地震速報が発せられた際、導入している機器が正常に作動することを確認することにより、運用及び検証を行いました。</p> <p>デジタル防災行政無線の整備について、再送信子局 1 局、難聴対策として新規屋外拡声子局 3 か所、老朽化設備の改修 95 か所を実施しました。</p> <p>固定系防災無線の更新に伴い、区施設 174 か所に戸別受信機を設置(デジタル型への移行)しました。</p>	413,962,500
橋梁の耐震性の向上	<p>関係機関との協議調整を行いながら、弾正橋の架替設計を行いました。</p> <p>仲ノ橋の架替工事は、地元への周知説明を行い、現場着手、旧橋の撤去を行いました。</p> <p>八幡橋の架替工事は、右岸側橋台の築造、左岸側旧橋台の撤去を行いました。新馬込橋の架替工事は、工事契約を行い、関連機関との協議調整を行いました。大森東避難橋の耐震補強工事が竣工しました。</p> <p>西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋は、耐震補強設計が、新根方橋、富士見橋は耐震補強調査設計が完了しました。</p> <p>町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋の耐震補強工事が完了しました。</p>	1,325,543,040

道路の整備

事業名	内容	決算額（円）
身近な地域の魅力づくり	「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の鉄道蓋かけ工事を継続的に施工しているほか、契約買収(1画地、56.78 m ²)を行いました。	1,546,052,465
都市計画道路の整備	交通円滑化を図るとともに、安全で快適な歩行者空間を確保するため、補助44号線の、復元測量、管理舗装を行ったほか、契約買収(4画地、225.23 m ²)を行いました。また、土地収用法の裁決申請(1画地、115.52 m ²)をし、その一部について売買契約の締結を行いました。さらに、土地開発公社から用地(187.50 m ²)の買戻しを行いました。 補助43号線については、事業認可を取得し、用地買収折衝に取り組みました。契約買収(3画地、339.02 m ²)を行うとともに、代替地(1画地、550.13 m ²)を取得しました。また、復元測量、管理舗装を行いました。	389,809,837
京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	関連街路の整備を進めるため、用地取得として2画地(計3.21 m ²)の地権者と契約するとともに、土地収用法の和解により1画地(183.26 m ²)を取得しました。これにより、用地契約率は、平成23年度に新規で事業認可を取得した路線を含め87.11%となりました。 また、土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち460.55 m ² を買戻しました。 東京都受託分の関連街路用地として残る1画地(111.21 m ²)について地権者と契約し、受託分用地契約率は100%となり完了しました。 補助線街路第328号線の整備工事(交差点整備・下水道管新設・電線共同溝)や整備工事に伴う補償工事、放射第19号(京急蒲田駅東口駅前広場)や大田歩行者専用道第1号線の実施設計、区画街路第2号線、本線付属街路第1・2号線の電線共同溝、街路整備の設計委託等を行いました。 また、東京都からの受託事業である関連側道(空港線付属街路第1号線)の整備工事を行いました。	1,782,964,203
呑川緑道の整備	水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事(73m)及び実施設計(360m)を完了しました。	18,435,900

事業名	内容	決算額（円）
桜のプロムナードの整備	水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事(281m)及び設計(420m)を完了しました。	70,732,200